



みんなで考える 未来の公共施設

第11回

多様な公共施設と今後の対応方法

本連載は、これまで10回にわたり公共施設の現状や将来の予測などを紹介してきました。皆さんはこれまで紹介した内容についてどのように感じましたか。最終回となる今回は、この連載のまとめやこれからの予定などを説明していきます。

これからの公共施設の修繕や建て替えといった整備では、しっかりと将来を見据え施設の質の確保や適正な規模、数、配置などに配慮しながら進めていく必要があります。

現在保有している施設の質は良好なのか、量は適正なのか、今一度思い浮かべてください。将来、現在の公共施設を同じだけ保有していくことは、非常に困難であると予測されています。そのような中でも必要性の高い公共施設は、きちんと次世代に引き継いでいかなければな

りません。

また公共施設は建物だけではありません。道路や橋、上水道などのインフラ施設も、重要なものなのではないでしょうか。これらインフラ施設も年を経るごとに老朽化していきます。これから迎える厳しい財政状況下では、今までと同様の工事費用を確保することができなくなります。

どうすればこれら公共施設を問題なく引き継ぐことができるのか。今後は行政と市民がこれから迎える将来の姿に、真剣に向き合って活発に議論していく必要があります。

市では、これからの公共施設整備の目指すべき方向性を示す「公共施設等総合管理計画」の策定作業を進めています。この計画の策定に当たっては、しっかりと将来への道筋を立てていきたいと考えています。

市が実施している「まちづくり出前講座」を活用するなどして、未来の公共施設について一緒に考えてみませんか。そして皆さんの意見を届けてください。

図行政改革推進課行政改革推進班(☎62-5345)